

日々の田高（2学期始業式・地震を想定した避難訓練）

令和8年度2学期が始まりました。

SHR・清掃の後、生徒たちは、各教室で防災教育普及協会宮崎賢哉様の防災講話を受けました。その後、地震を想定しての避難訓練を行いました。生徒一人一人が落ち着いて静かに体育館に移動することができました。講話をいただいた宮崎様からも東京消防署の方からも迅速な避難ができたことをお褒めいただきました。

避難訓練の後は始業式がありました。校長から、今年度実施している課外学習の講座数や参加生徒数の紹介があり、周囲に一步踏み出している人がいること、様々な機会を有効に活用して新たな一步を踏み出してほしいと話がありました。また、防災の日にちなみ、現在読んでいるという、吉村昭著「闇を裂く道」の紹介がありました。静岡県の熱海と三島をつなぐ丹那トンネルの工事の話です。一つの土木工事も、土木技術そのものの他、地質との関係、地震や断層との関係、地域の産業や生活に大きな影響を与えたことなどがあり、自分の関心がある面から迫る大切さや、一つの事象を様々な角度から捉える大切さの話がありました。



教務部からは、各学年へ、2学期の過ごし方について話がありました。1年生には「知ること、試すこと、自分のものにしようとする事」、2年生には「自ら課題を見つけ行動すること」、3年生には「自分自身の可能性を最大限にして、自分自身を豊かにすること」です。また、目標を叶えるため学校生活は全力で臨んで欲しいこと、自分に一番厳しいのは自分であるべきだが、一番大切なのは自分であり、時に休むことや、解決するために人に話すことの重要性の話をしました。

夏休みに、東日本大震災後の福島スタディーツアーに参加した生徒から、子どもも大人も一緒になって、命を守る行動を考え、自分事にする大切さの報告がありました。



表彰です。GTEC1000点以上の生徒が表彰されました。大学入試に加点される場合や受験の条件にもなる検定の一つです。

1学期と同様に、生活指導部から当日の身だしなみについて講評がありました。今後社会に出ていく上でも大切なので正しい服装を心がけて欲しいです。

長い夏休みが終わりました。有意義な時間を過ごした人、思うよう過ごせず後悔している人さまざまだと思います。どの生徒さんも、ぼろにあ祭では全力で臨み、悔いのない2学期をスタートしてください。